

No.29 第2807回 令和6年2月26日

今週の歌: それでこそロータリー

プログラム 「会員卓話」

来住泰幸会員、東口喜樹会員

会長 高瀬幸一郎 幹事 東口喜樹
 例会日 月曜日 12:30-13:30
 例会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel: 0795(23)2000
 事務局 西脇商工会議所内
 〒677-0015 西脇市西脇 990
 Tel: 0795(22)3901 Fax: 0795(22)8739

RIテーマ : CREATE HOPE in the WORLD ~世界に希望を生み出そう

表彰

○マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 矢納利夫会員
 ○米山功労者 渡会英明会員



2月19日(月) 第2806例会記録

◎お客様 あわじ中央RC 徳梅明彦様
 姫路南RC 有川裕之様
 ◎出席・・・会員数 47名 出席 38名 MU 5名
 (出席免除会員 9名・休会 3名)

会長の時間

高瀬幸一郎会長

とあるブログから拝借したお話をさせていただきます。山本五十六のことは皆さんご存知でしょうか。日本帝国海軍大将ですが、その人物評価を云々するつもりではございません。本日はご紹介したいのは、山本五十六が述べた名言についてです。ご存じの方も多いたと思いますが、つぎのような言葉です。

『やってみせ、言って聞かせて、やらせてみて、ほめてやらねば、人は動かじ。』

有名なこの言葉には次のような続きがあります。

『話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。』『やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず』

この後半が好きです。前半は人を動かすことが目的となっていますが、後半は人を育てること、成長させることが目的となっています。大きく育てて実らせるためには、話し合い、耳を傾け、承認し、任せ、やっている姿を感謝で見守って、信頼しなければなりません。正直、まあ大変です。私自身できるとは思われませんが、でもここにおられるバリバリ仕事をされてきた皆様も、きっとそうやって育ててきてもらったのでしょう。えっ…自分はちがう！勝手に育



った？でも今いる若い人や社員に勝手に育ててもらうことを期待することはできません。本質的な業績向上のためには、人材の育成→業務プロセスの改善→顧客志向のビジネス展開→業績向上の流れとなります。人材育成なしに業績向上はありません。業績が向上しても人材育成なしでは長続きしません。人を育てるためにどれだけの時間とお金をかけているかです。企業は人なり。人を大切にしない企業、組織に未来はありません。当然ロータリークラブにも当てはまることです。山本五十六の名言を借りてのインクルージョンの話でした。

幹事報告

(来信)

- ガバナー事務所より、
 - ・2023-24 年度地区補助金臨時費等(令和6年能登半島地震対応)申請募集について (締切 3/10)
 - ・2024 年会長エレクト研修セミナー(PETS)案内 3月16日(土)~17日(日) 於：神戸ポートピアホテル
- 米山記念奨学会より、ハイライトよねやま
- ロータリーの友事務所より、2024-25 年度版ロータリー手帳お買い上げのお願い
- 尼崎東RCより、創立 50 周年記念式典及び祝賀会のご案内 5月8日(水) 16:00~ 於：あましんアルカイックホール
- 豊岡RCより、竹野海岸漂着物回収ボランティアのご案内 3月20日(水祝) 於：豊岡市竹野町竹野

(報告)

- ・富良野RCさんより、会報が届きましたので、各テーブルに配布しております。今後定期的に週報の交換を行いますのでご覧ください。

委員会報告

○戦略計画委員会

矢納利夫委員長

本日、皆様のお手元にアンケートをお配りしております。よりよいロータリーライフを楽しんでいただくためのアンケートとなっております。最後に自由に書いていただけるスペースもありますので、忌

憚のないご意見をお聞かせいただければと思います。
3月4日までに提出くださいますよう、よろしく
お願いします。

ニコニコ箱

高瀬(幸)会員 徳梅委員長様、卓話楽しみにしています。

来住(周)会員 徳梅委員長、本日は宜しくお願い致します。

※本日のニコニコ 3,000円

※本年度累計額 (2/19 現在) 1,265,095円

★本日の花：カーネーション・スイビー

プログラム

「平和構築と紛争予防月間」

2023-24年度国際奉仕委員長

徳梅明彦氏(あわじ中央RC)

【ロータリー平和フェローシップ】

ロータリー平和センタープログラム

ラムにはビジョンがあります。それは、紛争予防と解決に取り組む平和活動家とリーダーのネットワークを通じた。持続可能な平和の構築です。ロータリーは名門大学と提携して、平和構築者のエンパワメント、教育、スキル向上に焦点を置いたロータリー平和センターを運営しています。現在、ロータリー平和センターの卒業生は1,600人おり、140カ国以上で平和構築と開発の分野で活躍しています。

◆修士号および専門能力開発修了証のプログラム

〈修士号プログラム〉

- ・キャリア開始時期にあるリーダーが対象
- ・毎年50名を選出(各センターで10名ずつ)
- ・15~24カ月のプログラム

〈専門能力開発修了証プログラム〉

- ・平和と開発分野でリーダーシップスキルを発揮した経験がある人が対象
- ・今年は40名を選出(20名×2期)
- ・働く専門職従事者を対象とした1年間の混合型学習

◎修士号プログラムの主な利点

- ・多様なカリキュラムを通じた学術研修が受けられます。各センターではそれぞれの大学の強みが生かされており、さまざまな枠組みで平和と紛争について研究することができます。コースは平和と紛争解決を土台とし、交渉、仲介、人権、国際開発といった主題を扱います。
- ・フェローは、理論を実践する機会となる、2~3カ月の実地研修(全額支給)を計画、実施します。
- ・ロータリーが主催するワークショップを通じて、困難な状況に対応するための専門的スキルを磨くことができます。



- ・フェローは、ロータリアンや同期のフェローとネットワークを築く機会が得られます。
- ・大学や地元のロータリークラブ・地区が主催する年次セミナーで、自分の研究について発表する機会が得られます。

◎修士号プログラムの候補者

理想的な修士号プログラムの候補者は、学問に長け、関連分野の学士号を有し、ロータリーの使命に沿った平和・開発の分野における職歴を有しています。候補者は、平和と紛争解決へのコミットメントを示し、知識を求めて多様な文献を読んで研究を行い、多様な学生からなる集団の中で積極的に参加できることが求められます。プログラム終了後も、自分の仕事や経験を進んで分かち合い、それぞれの地域の平和フェローと連絡を取り合い、ロータリー会員との強いつながりを維持しなければなりません。

その他の条件

- ・英語に堪能であること
- ・学士号を所得していること
- ・異文化間の理解と平和への強いコミットメントがあること
- ・優れたリーダーシップスキルを実証していること
- ・関連分野において少なくとも3年間のフルタイムの職歴を有していること

◎専門能力開発修了証プログラム

理想的な候補者は、少なくとも5年間の業務経験を有する、キャリア半ばの平和と開発分野のリーダーです。社会人を対象とするこのプログラムは、11週間にわたり現地の大学に出席することが義務づけられます。プログラムを修了したフェローは準修士号を取得します。

この1年間のプログラムでは、さまざまな背景と専門的な経験をもつ学生が、地域社会や世界中で平和を促進するための実践的なスキルを身につけます。候補者は、該当地域で平和と開発を促進するための社会変革イニシアチブを行っており、フェローシップの経験とネットワークが平和活動の推進とそのインパクトの向上にどのように役立つかについて明確なビジョンを持っている必要があります。

【ロータリー平和センター学友】

プログラムの卒業生(学友)は、政府および非政府機関、教育と研究、国連機関や世界銀行などの多国間組織、法執行機関(警察)や軍、メディアや芸術部門、その他の平和構築団体のリーダーとして活躍しています。1,600人以上の卒業生(活動中)の93%が、140カ国以上の平和と開発に関連する仕事に就いています。

- ・24% 非政府組織のリーダー
- ・18% 研究/教育部門
- ・13% その他
- ・12% 政府機関
- ・12% 多国間組織
- ・7% コンサルティング
- ・6% 法執行機関(警察)、軍
- ・5% ビジネス
- ・3% 司法

今後のプログラム

3月4日(月) 「卓話」 渡会会員、後藤(直)会員

3月18日(月) 「卓話」 藤本会員、数原会員

3月11日(月) プロバスクラブとの合同例会

3月25日(月) 「卓話」 足立会員、村上会員

高瀬会長のテーマ : 職業人としてプライドを持つ！